

### III 調查結果

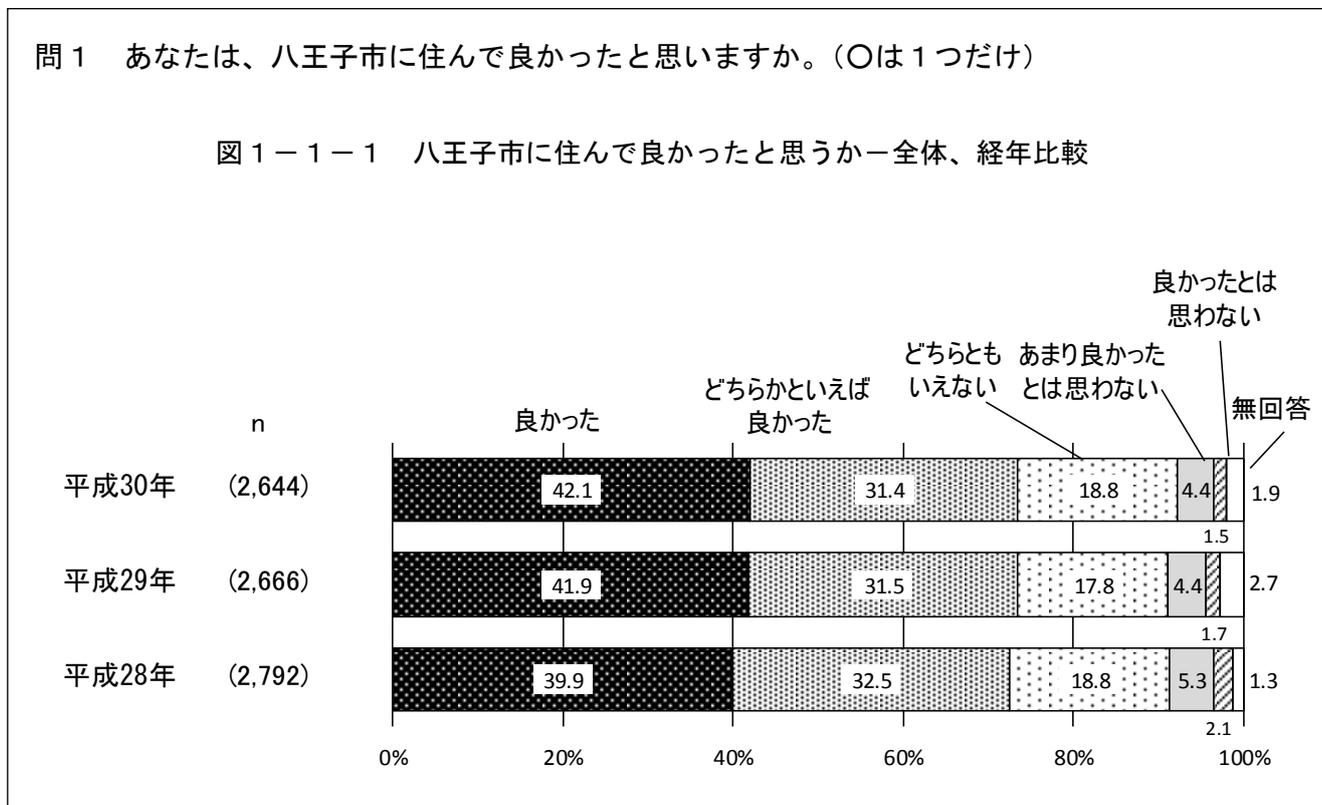
---



# 1. 定住意向

## (1) 八王子市に住んで良かったと思うか

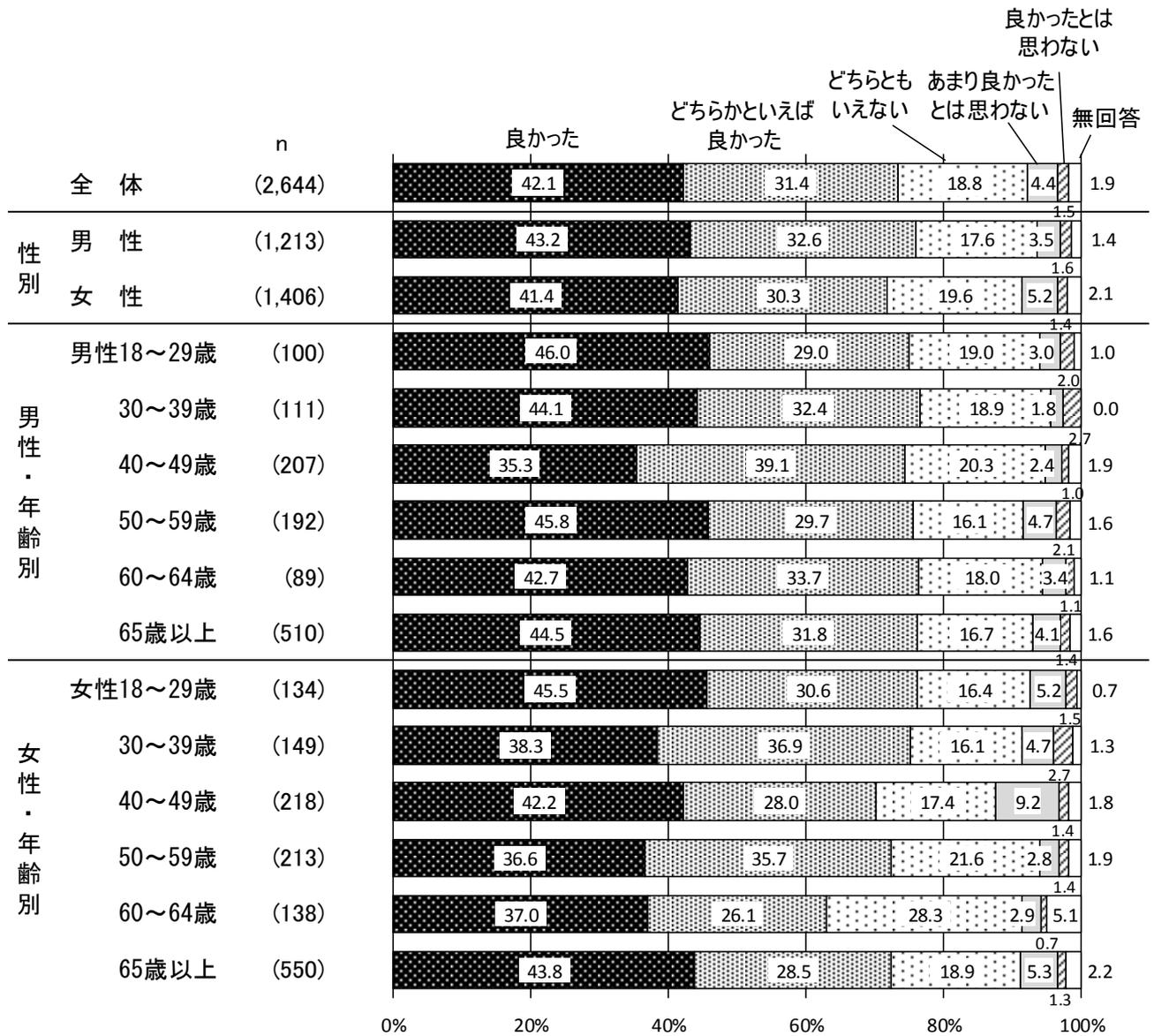
◇《良かった》が7割強



八王子市に住んで良かったと思うか聞いたところ、「良かった」(42.1%)と「どちらかといえば良かった」(31.4%)を合わせた《良かった》(73.5%)は7割強となっている。一方、「どちらともいえない」(18.8%)は2割近くで、「あまり良かったとは思わない」(4.4%)と「良かったとは思わない」(1.5%)を合わせた《良かったとは思わない》(5.9%)は1割に届いていない。

前回までの調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図1-1-1)

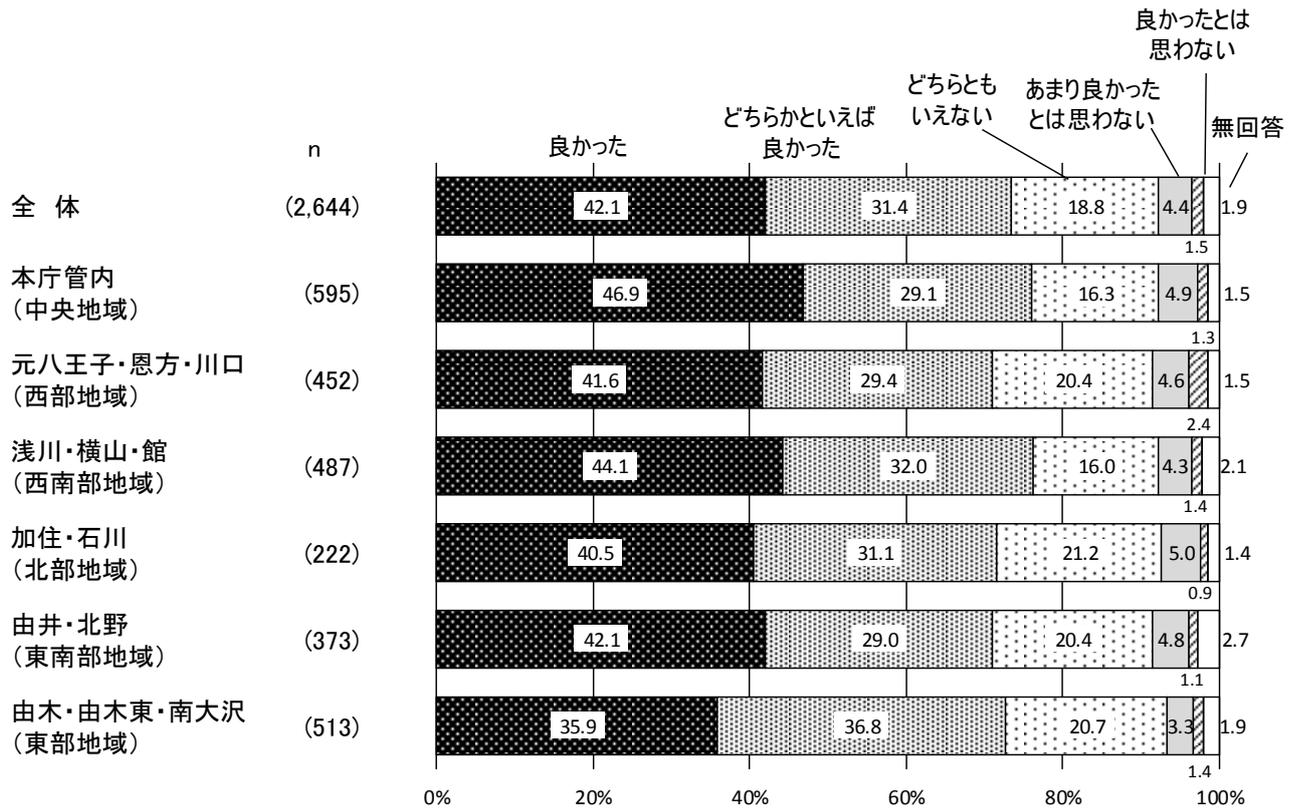
図 1-1-2 八王子市に住んで良かったと思うかー性別、性・年齢別



性別にみると、「良かった」は男性（75.8%）が女性（71.7%）より4.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「良かった」は男性の30～39歳（76.5%）、60～64歳（76.4%）、65歳以上（76.3%）、及び女性18～29歳（76.1%）の4層でそれぞれ8割近くと多くなっている一方、女性60～64歳（63.1%）で6割強と少なくなっている。また、「良かったとは思わない」は女性40～49歳（10.6%）で約1割と多くなっている。（図1-1-2）

図 1-1-3 八王子市に住んで良かったと思うかー居住地域別



居住地域別にみると、《良かった》は浅川・横山・館（西南部地域）（76.1%）と本庁管内（中央地域）（76.0%）の両地域で8割近くと多くなっている。（図 1-1-3）

## (2) まちの魅力をどの程度おすすめしたいか

◇自分のまちの魅力を、家族・友人・知人にすすめたい程度を表す【推奨意欲スコア】は、プラス35.1ポイント

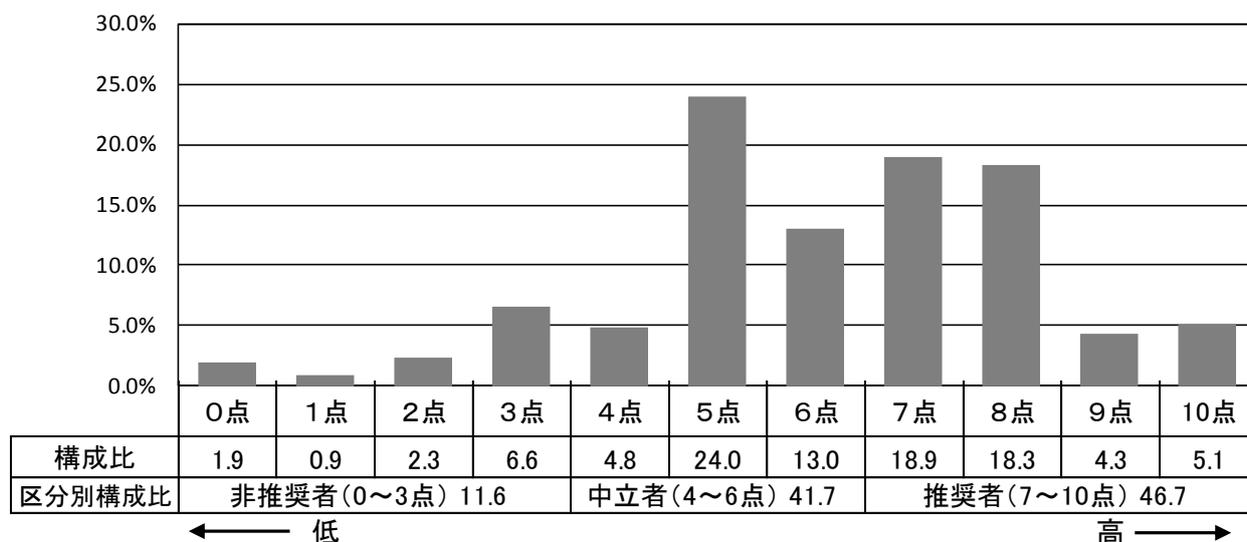
問2 あなたは、自分のまちの魅力を、家族・友人・知人にどの程度おすすめしたいと思えますか。最も強い気持ちを10、まったくない場合を0とし、あなたの気持ちを点数で表してください。(該当する数字1つに○)

※ ここでいう「まちの魅力」とは・・・

- 住みやすさ、働きやすさ、子育てしやすさ、交通や買い物の便利さ
- 学習環境、スポーツ環境
- 自然、まちなみ、まちの雰囲気
- お店、グルメ、特産品、農産物
- イベントやお祭り
- 歴史・文化
- 高尾山などの観光スポット
- 人物・企業・団体
- など、どのようなものでも構いません。

図1-2-1 まちの魅力をどの程度おすすめしたいか（無回答を除く）－全体

(n=2,587)



(注) 新規の設問のため、経年比較はない。

(注) 推奨意欲スコアの算出のため、無回答(57人)を除いている。

(注) 区分別構成比は、各点の回答者数の合計をnで除して算出しているため、各点の構成比の単純合計とは、必ずしも一致しない。

### ◆推奨意欲スコア

**推奨者(46.7%) - 非推奨者(11.6%) = 推奨意欲スコア(+35.1ポイント)**

(注) 推奨意欲スコアとは、企業・商品などのブランド価値評価に用いられる「NPS(ネット・プロモーター・スコア)」を参考にした指標で、以下のように算出している。

- ・まちに対する「居住」「来訪」等を推奨する気持ちを0~10点の11段階で測定。
- ・「推奨者」(7~10点を付けた人)、「中立者」(4~6点を付けた人)、「非推奨者」(0~3点を付けた人)に区分して、「推奨者の割合-非推奨者の割合」を計算。
- ・最低-100ポイント(全員が非推奨者)から最高+100ポイント(全員が推奨者)までで評価。
- ・なお、この指標は、絶対評価や他自治体との比較に用いるものではなく、経年変化を見るためのものである。

自分のまちの魅力を、家族・友人・知人にどの程度すすめたいかを0～10点の11段階で聞いたところ、7～10点を付けた《推奨者》が46.7%、4～6点を付けた《中立者》が41.7%、0～3点を付けた《非推奨者》が11.6%となっている。この結果を元に《推奨者》の割合から《非推奨者》の割合を引いた【推奨意欲スコア】は+（プラス）35.1ポイントとなる。（図1-2-1）



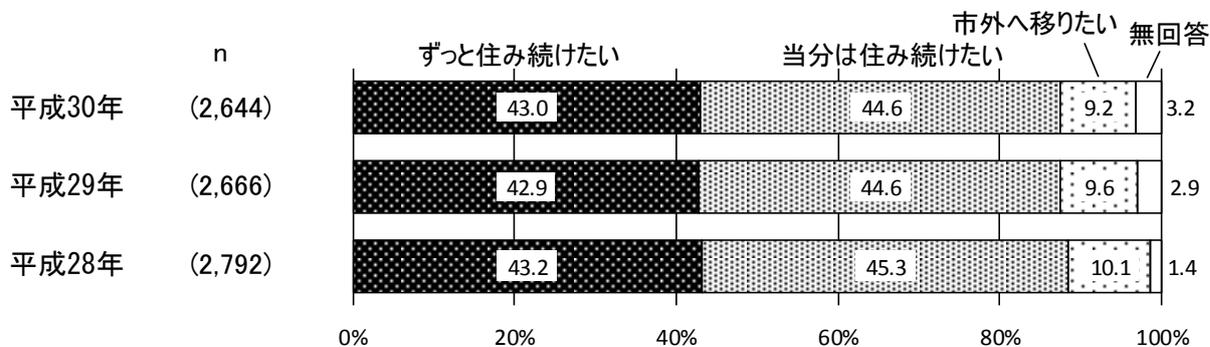
自分のまちを良くしたり、おもしろくしたりするために活動したいという気持ちの強さを0～10点の11段階で聞いたところ、7～10点を付けた《活動意欲高位》が26.6%、4～6点を付けた《中立者》が43.7%、0～3点を付けた《活動意欲低位》が29.7%となっている。この結果を元に《活動意欲高位》の割合から《活動意欲低位》の割合を引いた【活動意欲スコア】は－（マイナス）3.1ポイントとなる。（図1－3－1）

## (4) 定住意向

◇《住み続けたい》が9割近く

問4 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

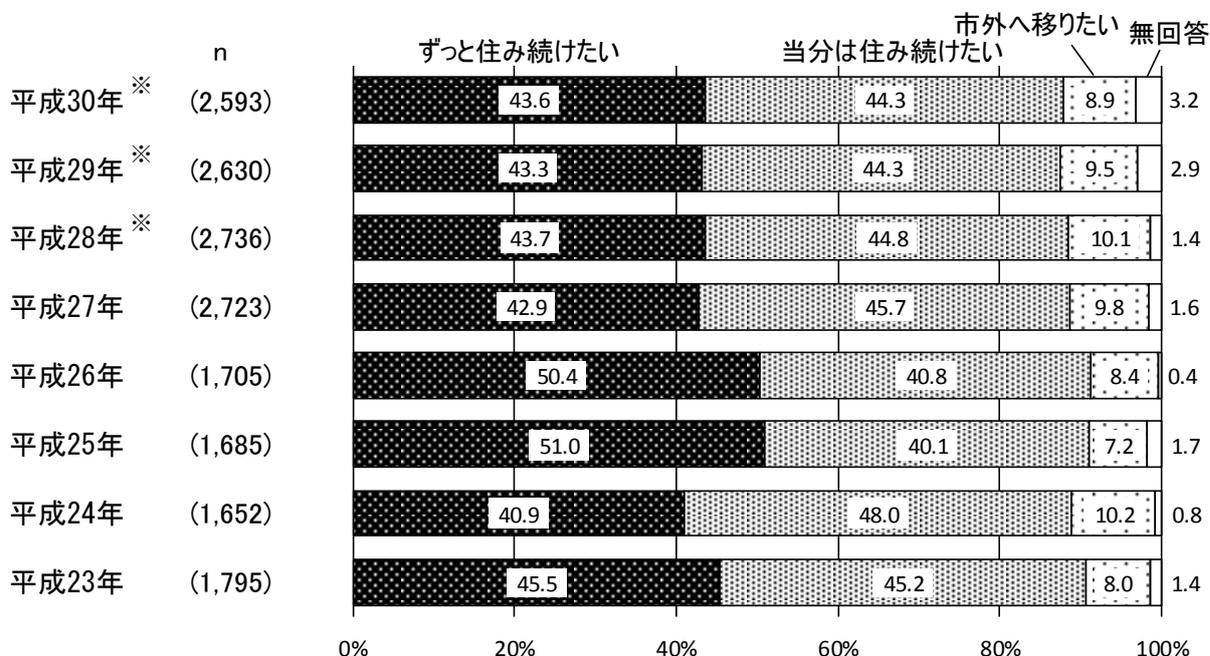
図1-4-1 定住意向—全体、経年比較



これからも八王子市に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(43.0%)と「当分は住み続けたい」(44.6%)を合わせた《住み続けたい》(87.6%)が9割近くと多くなっている。一方、「市外へ移りたい」(9.2%)は1割弱となっている。

前回までの調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図1-4-1)

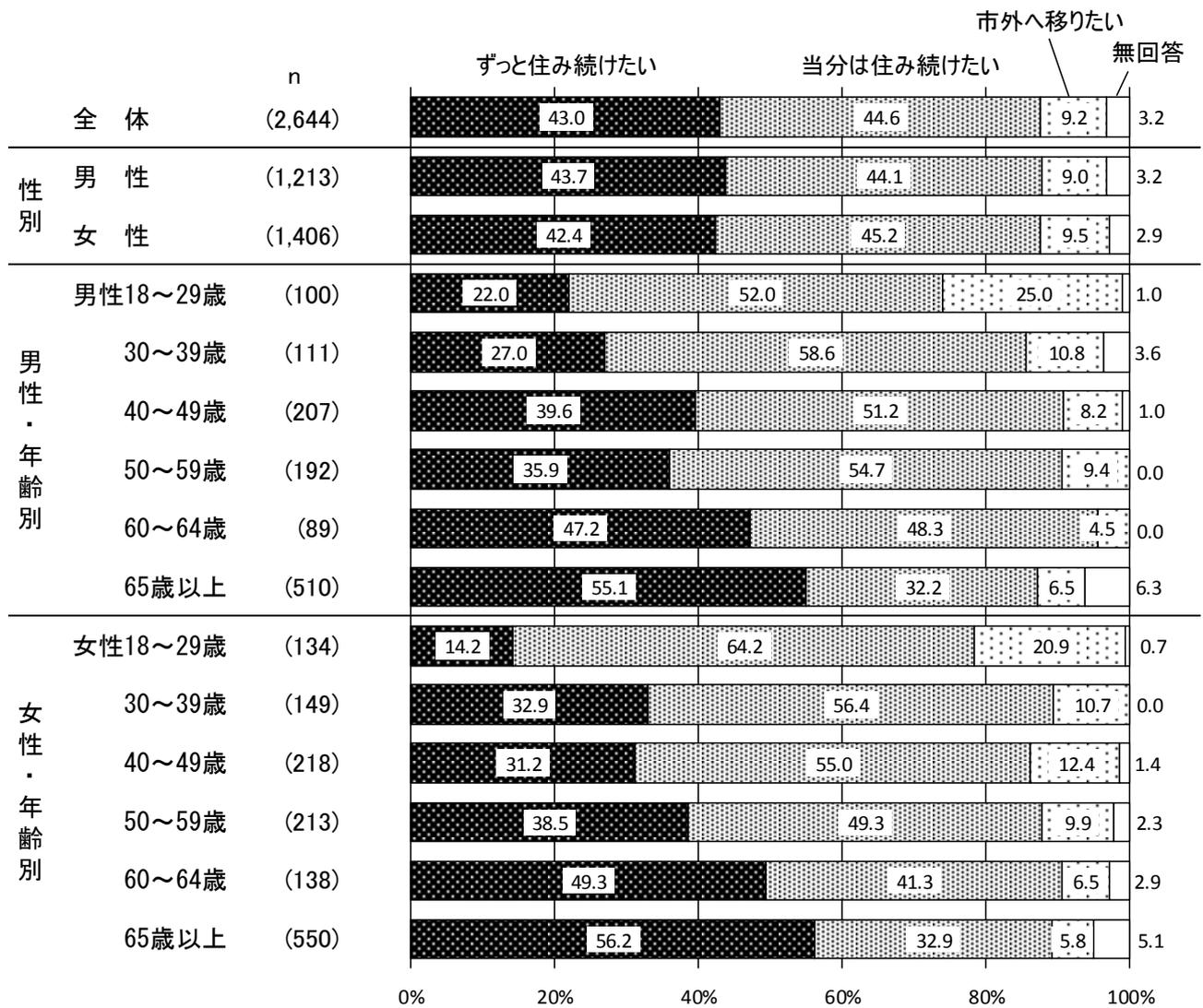
図1-4-2 定住意向—経年比較(過去8年)



※調査対象者を20歳以上としていた平成27年以前の調査結果と比較するため、28～30年は、18歳及び19歳を除いた数を使用している。

過去8年間の調査結果を比較すると、《住み続けたい》は各年9割近くから9割強の間であり、特に最近の4年間は88%前後の比率で推移していて、大きな違いはみられない。(図1-4-2)

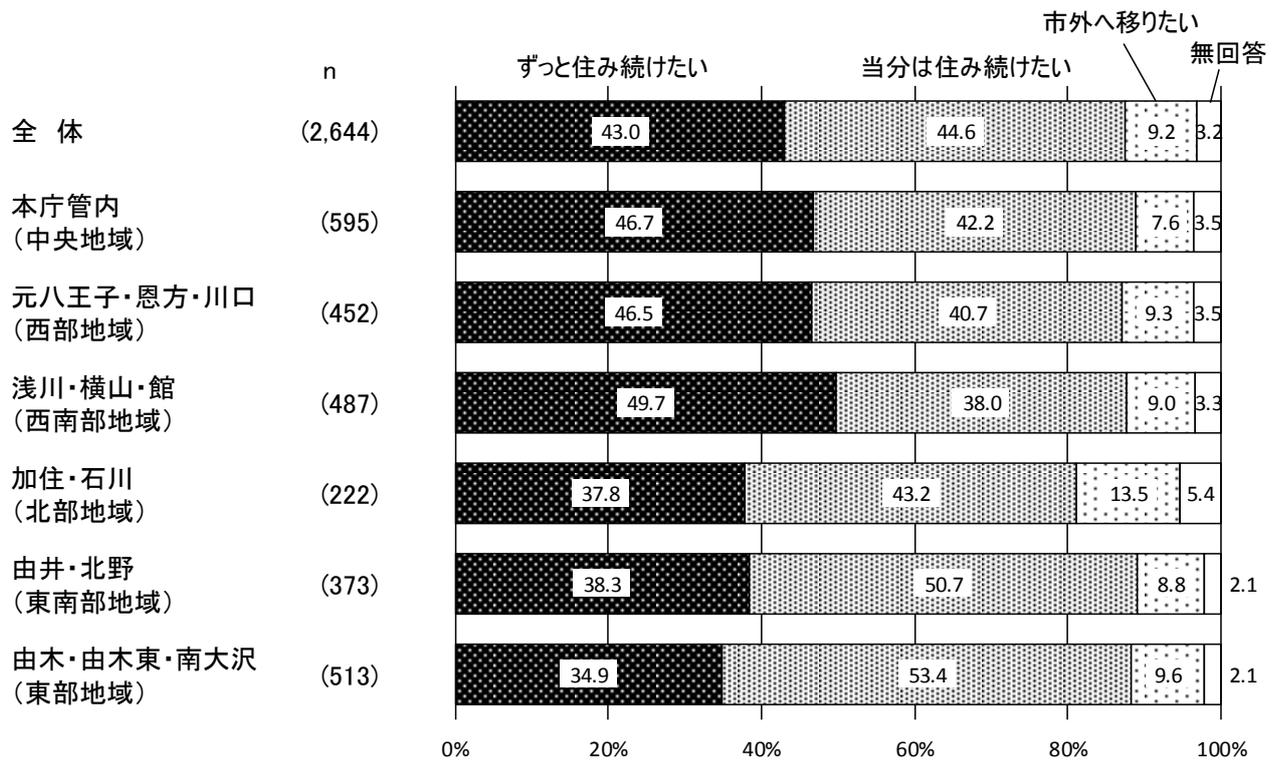
図1-4-3 定住意向—性別、性・年齢別



性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男女とも65歳以上（男性55.1%、女性56.2%）でそれぞれ5割台半ば、6割近くと多くなっている。一方、「市外へ移りたい」は男性18～29歳（25.0%）と女性18～29歳（20.9%）でそれぞれ2割を超えて多くなっている。（図1-4-3）

図 1-4-4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、「ずっと住みたい」は浅川・横山・館（西南部地域）（49.7%）で5割弱と多くなっている一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）（34.9%）では3割台半ばと少なくなっている。（図1-4-4）

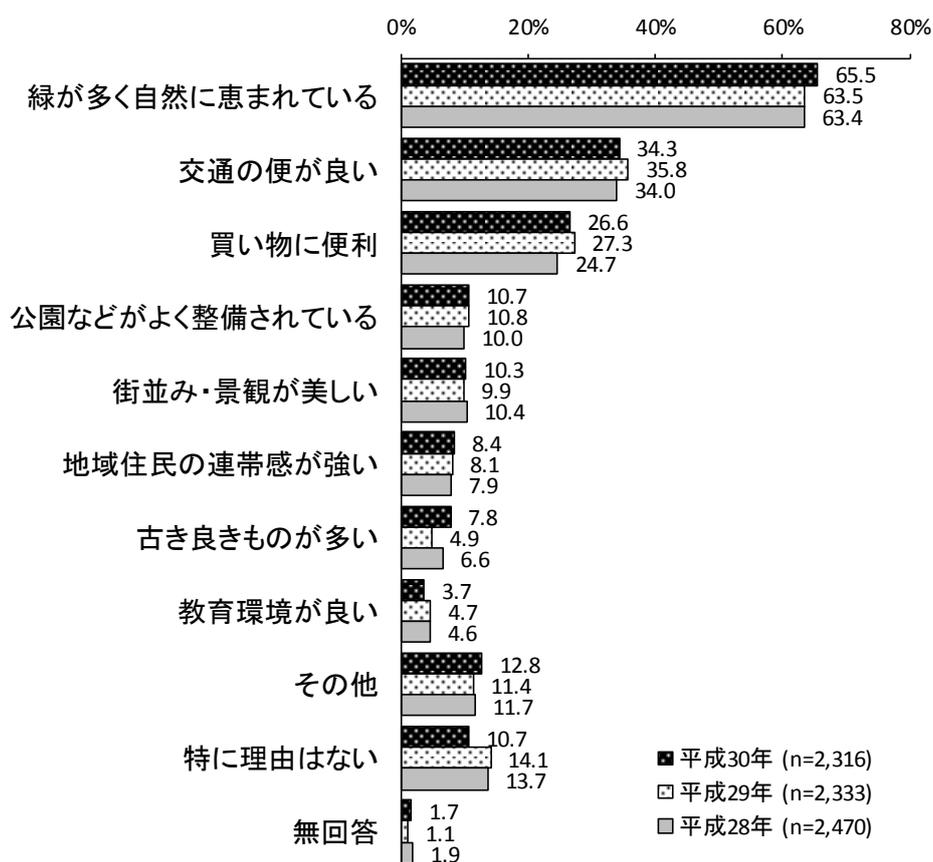
## (5) 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割台半ば

(問4で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問4-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

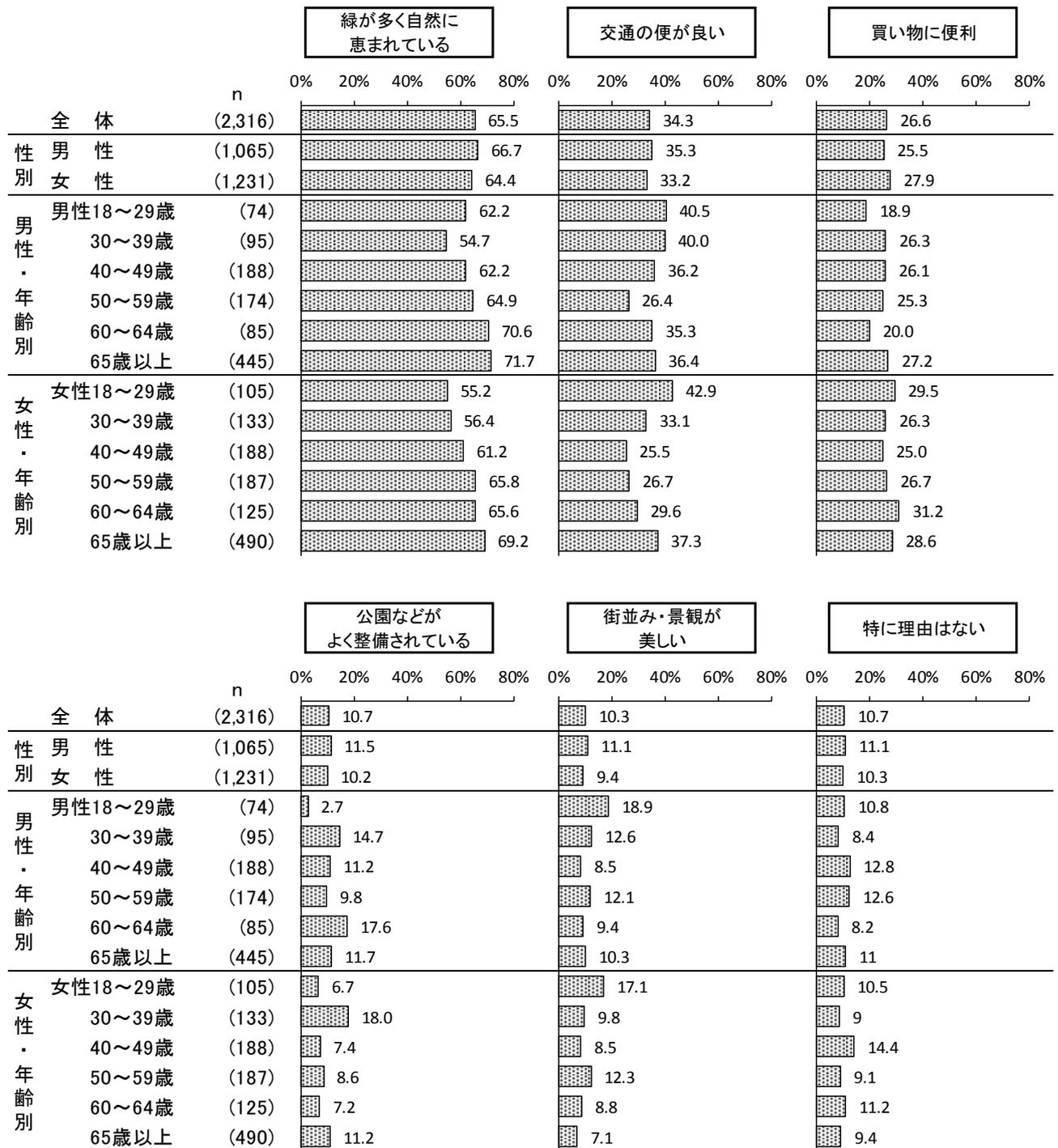
図1-5-1 住み続けたい理由-全体、経年比較



八王子市に「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答した2,316人に、その理由を聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」(65.5%)が最も多く6割台半ばとなっている。次いで「交通の便が良い」(34.3%)が3割台半ばで続き、以下「買い物に便利」(26.6%)、「公園などがよく整備されている」(10.7%)、「街並み・景観が美しい」(10.3%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「緑が多く自然に恵まれている」が平成29年(63.5%)より2.0ポイント増加して、「特に理由はない」が平成29年(14.1%)より3.4ポイント減少しているのを除くと、大きな傾向の違いはみられない。(図1-5-1)

図1-5-2 住みたい理由—性別、性・年齢別（上位5位+「特に理由はない」）

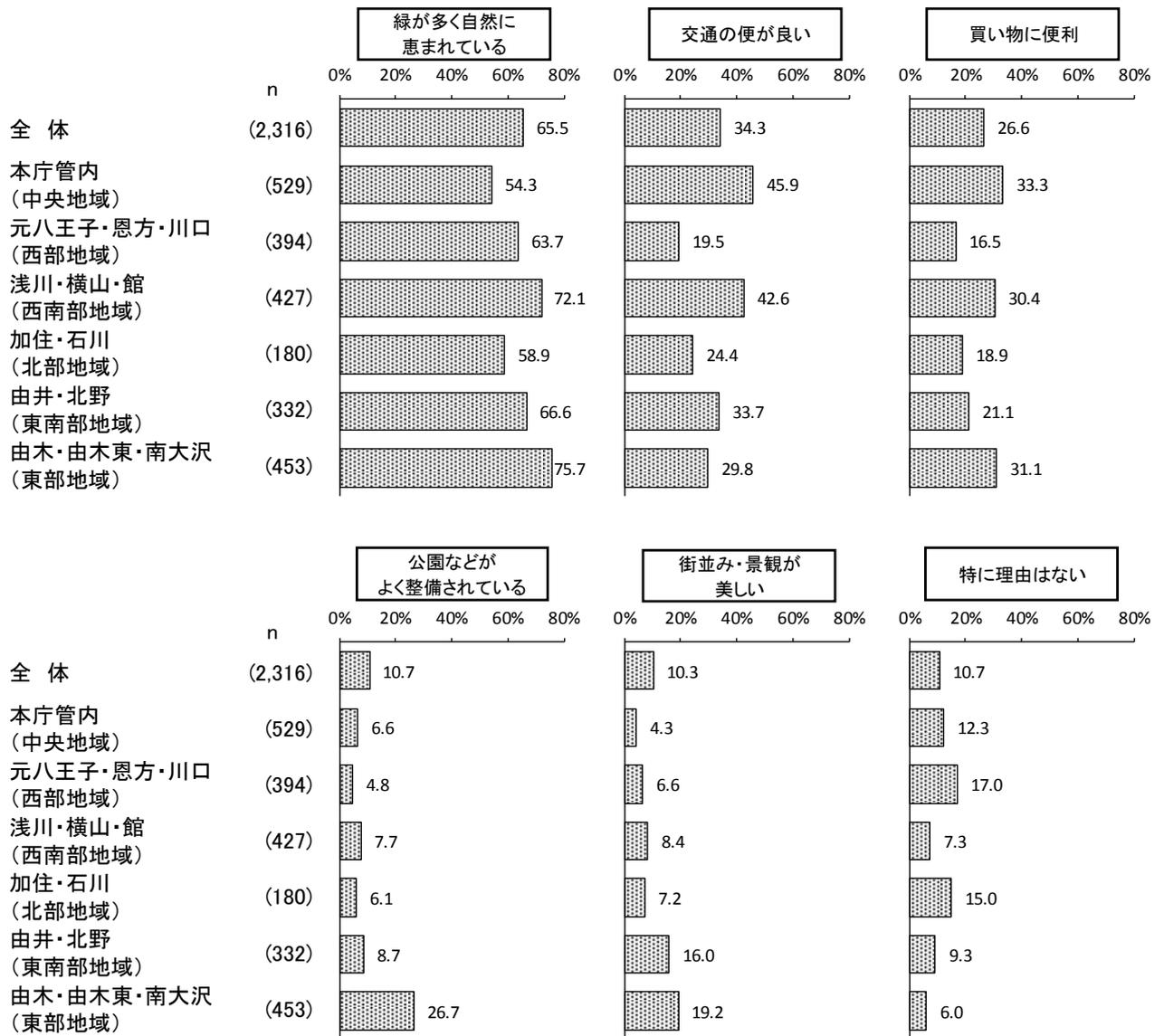


性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性65歳以上（71.7%）で7割強と多くなっており、「交通の便が良い」は女性18～29歳（42.9%）で4割強と多くなっている。

（図1-5-2）

図1-5-3 住み続けたい理由—居住地域別（上位5位+「特に理由はない」）



居住地域別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（75.7%）で7割台半ばと多くなっている。「交通の便が良い」は本庁管内（中央地域）（45.9%）で4割台半ばと多く、「買い物に便利」も本庁管内（中央地域）（33.3%）が3割強で最も多くなっている。「公園などがよく整備されている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（26.7%）で3割近くと多く、「街並み・景観が美しい」も由木・由木東・南大沢（東部地域）（19.2%）で2割弱と多くなっている。（図1-5-3）

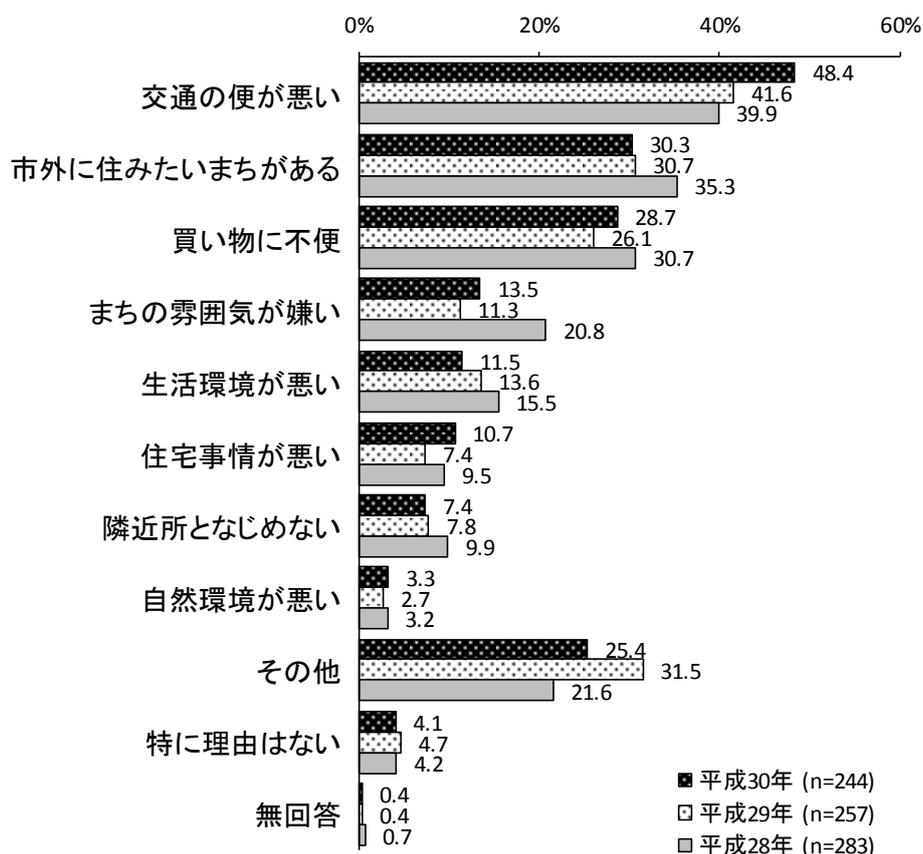
## (6) 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が5割近く

(問4で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問4-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

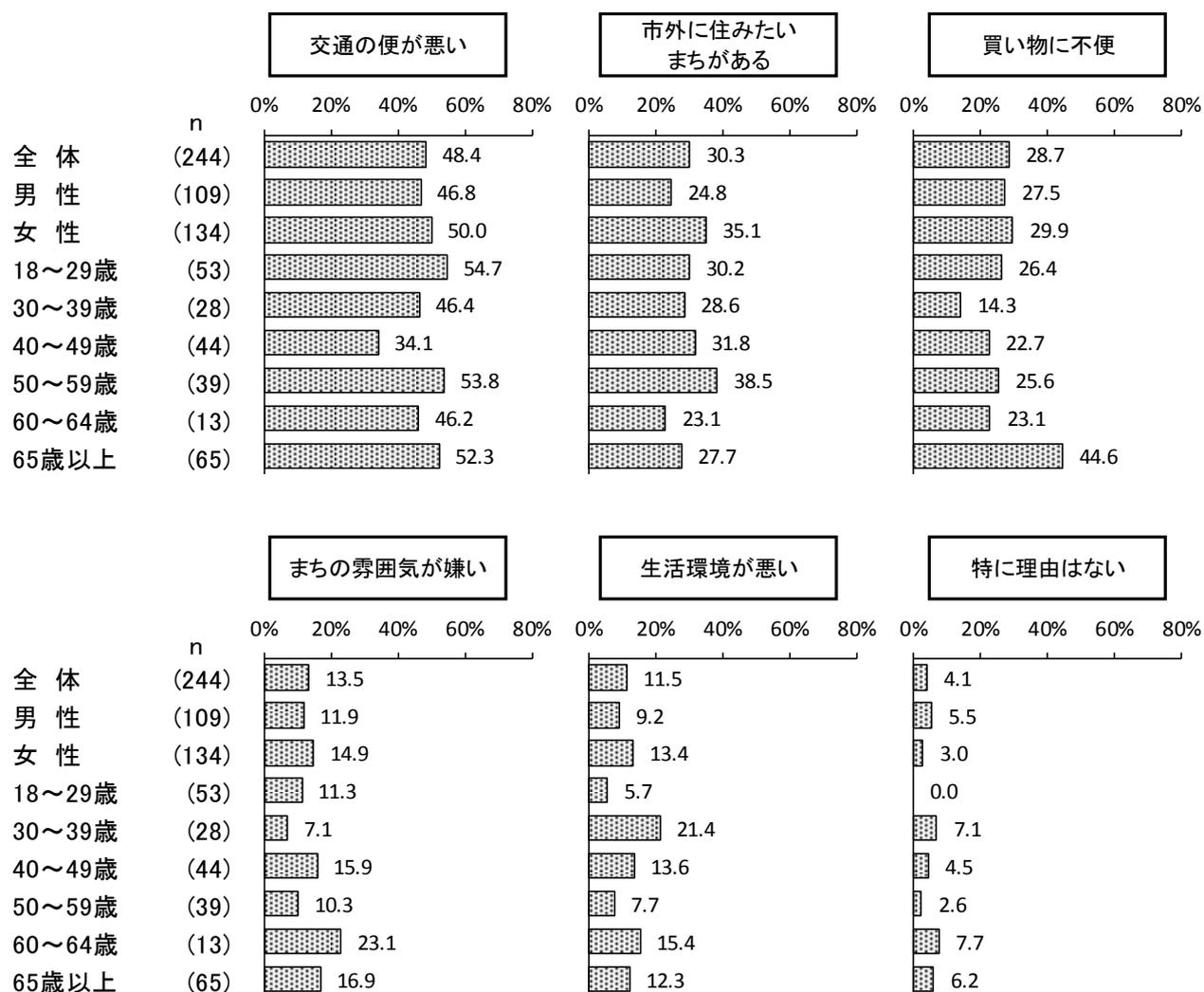
図1-6-1 市外へ移りたい理由-全体、経年比較



八王子市から「市外へ移りたい」と回答した244人にその理由を聞いたところ、「交通の便が悪い」(48.4%)が最も多く5割近くとなっている。次いで「市外に住みたいまちがある」(30.3%)と「買い物に不便」(28.7%)が3割前後で続き、以下「まちの雰囲気が嫌い」(13.5%)、「生活環境が悪い」(11.5%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「交通の便が悪い」は平成29年(41.6%)より6.8ポイント増加しており、2年連続で増えている。(図1-6-1)

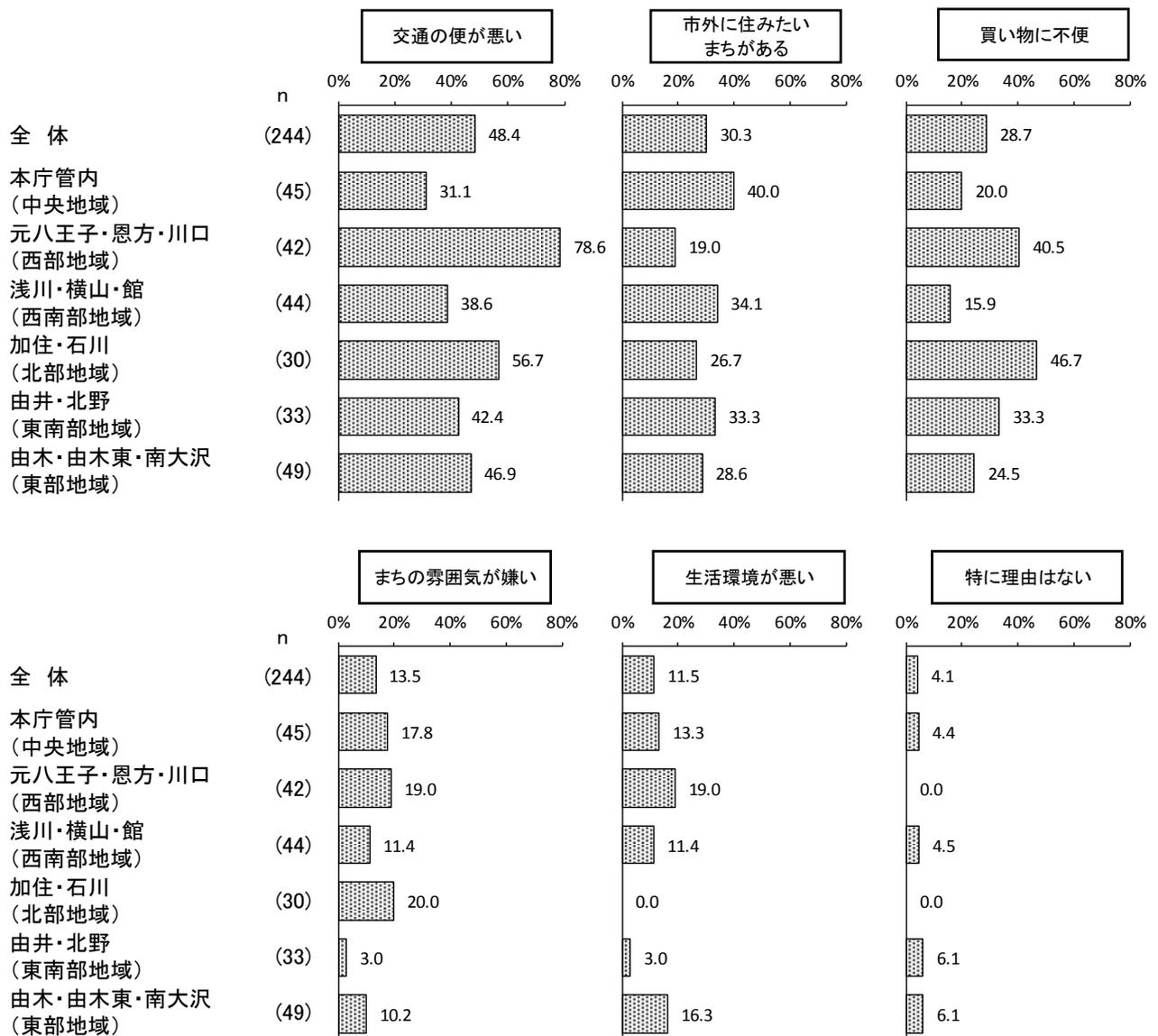
図1-6-2 市外へ移りたい理由—性別、年齢別（上位5位+「特に理由はない」）



性別にみると、「市外に住みたいまちがある」は女性（35.1%）が男性（24.8%）より10.3ポイント高くなっており、「生活環境が悪い」も女性（13.4%）が男性（9.2%）より4.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「交通の便が悪い」は18～29歳（54.7%）が5割台半ばと多くっており、「市外に住みたいまちがある」は50～59歳（38.5%）が4割近くと多くなっている。「買い物に不便」は65歳以上（44.6%）が4割台半ばと多くなっている。（図1-6-2）

図1-6-3 市外へ移りたい理由—居住地域別（上位5位＋「特に理由はない」）



居住地域別にみると、「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（78.6%）で8割近くと多く、「市外に住みたいまちがある」は本庁管内（中央地域）（40.0%）で4割と多くなっている。「買い物に不便」は加住・石川（北部地域）（46.7%）と元八王子・恩方・川口（西部地域）（40.5%）の両地域でともに4割台と多くなっている。（図1-6-3）

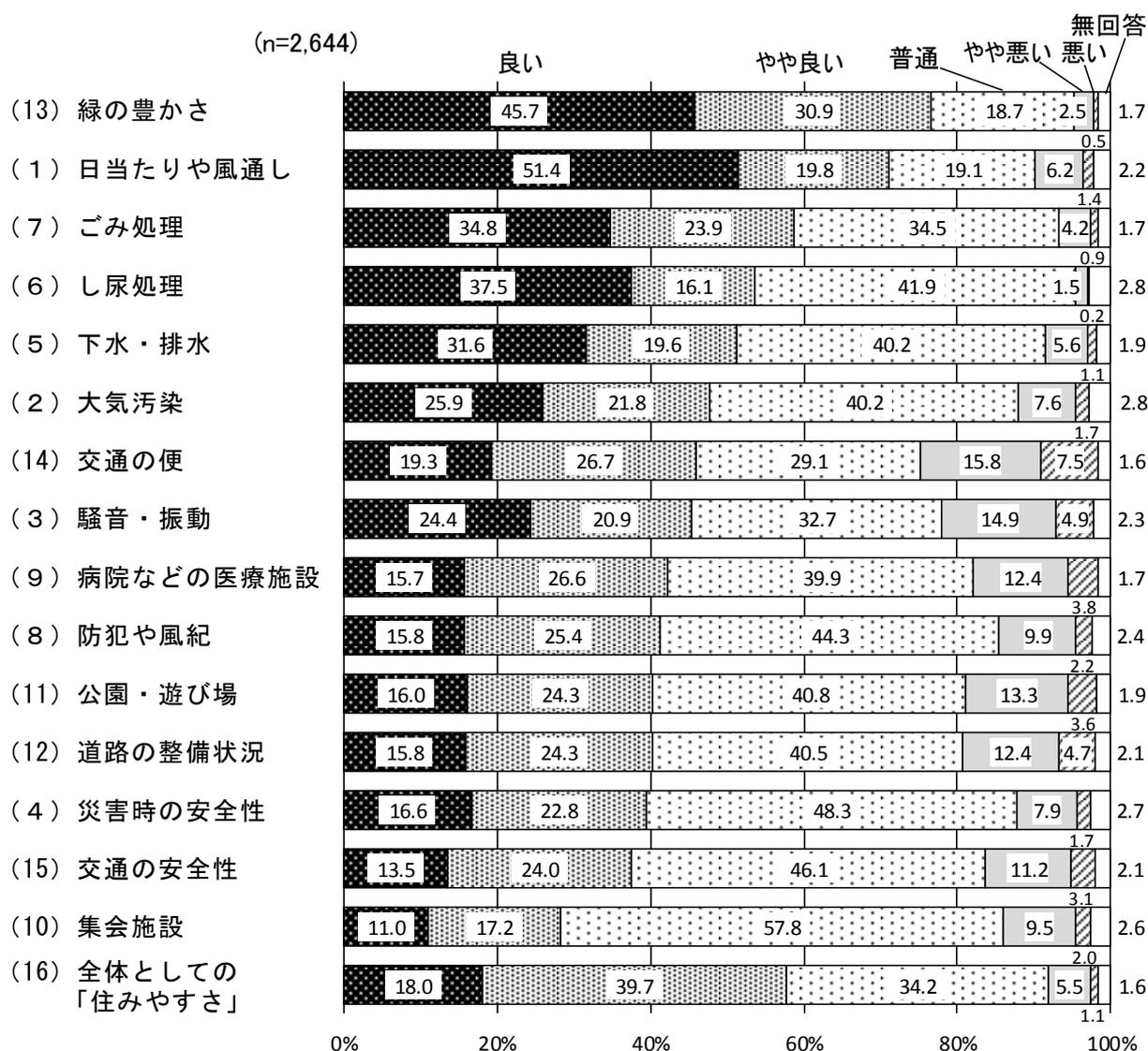
## (7) 生活環境の評価

◇《良い》は、「緑の豊かさ」が8割近く、「日当たりや風通し」が7割強

問5 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

図1-7-1 生活環境の評価—全体



(注) (16) 全体としての「住みやすさ」を除き、「良い」と「やや良い」を合算し、比率の高い順に並べた。

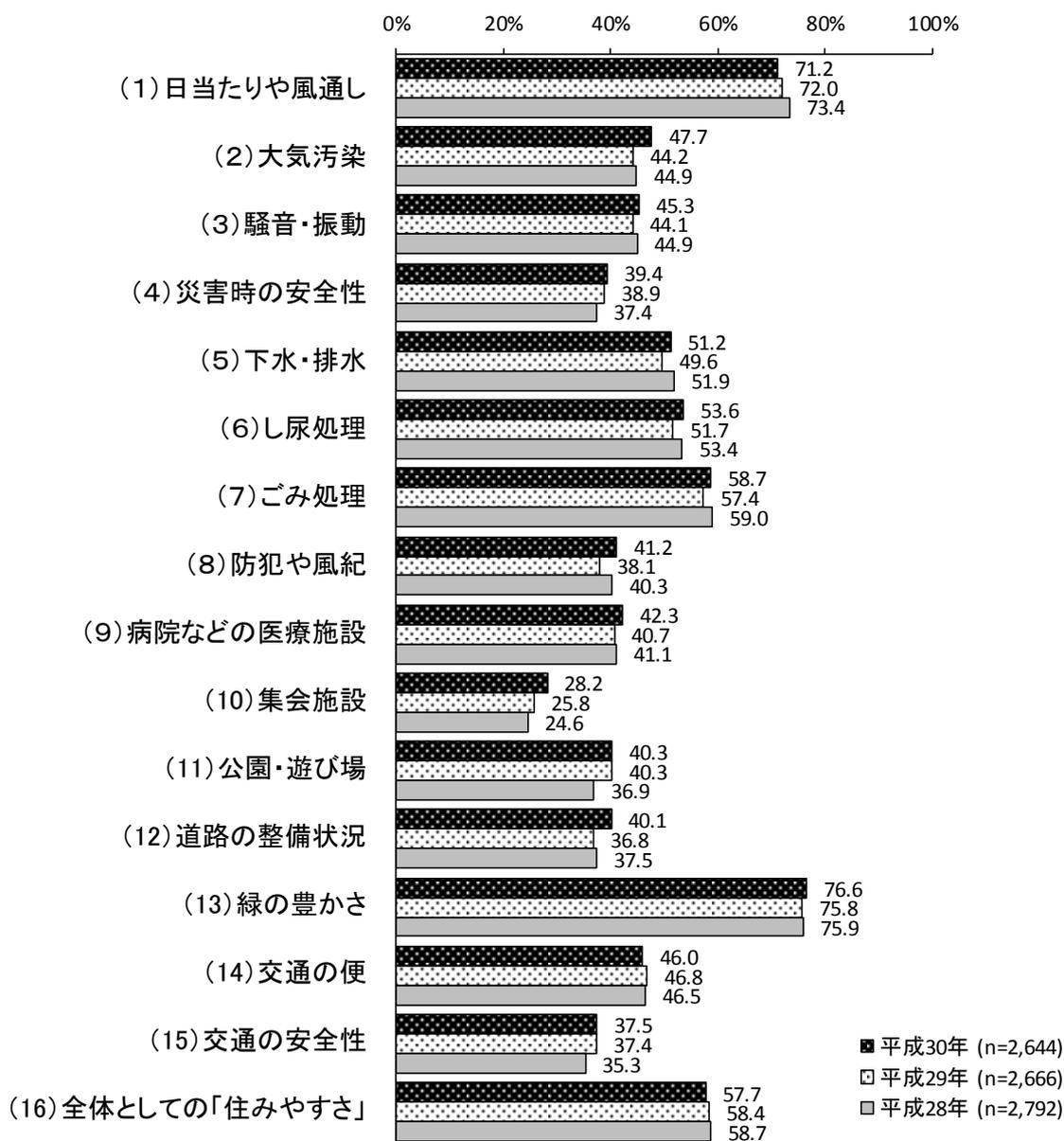
周囲の生活環境について日頃どのように感じているか聞いたところ、「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》は、(13) 緑の豊かさ (76.6%) が最も多く8割近くとなっている。以下(1) 日当たりや風通し (71.2%)、(7) ごみ処理 (58.7%) などの順で上位となっている。

一方、「やや悪い」と「悪い」を合わせた《悪い》は、(14) 交通の便 (23.3%) が2割強で最も多く、次いで(3) 騒音・振動 (19.8%) となっている。

(16) 全体としての「住みやすさ」は、《良い》 (57.7%) が6割近くとなっている。

(図1-7-1)

図 1-7-2 生活環境の評価—経年比較（「良い」＋「やや良い」）



「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》について前回までの調査と比較すると、ほとんどの項目で目立った経年変動はみられない。

その中で、平成29年からの伸びが大きな項目をあげると、(2) 大気汚染 (47.7%) が3.5ポイント増加、(12) 道路の整備状況 (40.1%) が3.3ポイント増加、(8) 防犯や風紀 (41.2%) が3.1ポイント増加となっている。

また、平成30年で、平成29年より《良い》の割合が増加したのは13項目で、《良い》の割合が減少したのは(1) 日当たりや風通し (0.8ポイント減)、(14) 交通の便 (0.8ポイント減)、(16) 全体としての「住みやすさ」 (0.7ポイント減) の3項目となっている。(図1-7-2)

## 加重平均値（満足度）

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比率をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\begin{aligned} \text{評価点} = & \text{【(「良い」の回答者数} \times 5 \text{点)} + \text{(「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点)} \\ & + \text{(「普通」の回答者数} \times 3 \text{点)} + \text{(「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点)} \\ & + \text{(「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点)} \text{】} \div \text{回答者数} \end{aligned}$$

この計算方法では、評価点は5.00点から1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど評価は高くなり、1.00点に近くなるほど評価が低くなる。

図1-7-3 生活環境の評価—加重平均

	全 体	居 住 地 域						低い ← (評価点) → 高い 1 2 3 4 5 (点)
		本 庁 管 内 ( 中 央 地 域 )	元 八 王 子 ( 西 部 ・ 恩 方 ・ 川 口 )	浅 川 ( 西 南 部 ・ 山 館 )	加 住 ( 北 部 ・ 石 川 地 域 )	由 井 ( 東 南 部 地 域 )	由 木 ( 東 部 ・ 東 ・ 南 大 沢 )	
(1) 日当たりや風通し	4.16	<b>3.97</b>	4.12	4.19	4.23	4.24	<b>4.30</b>	4.16
(2) 大気汚染	3.64	3.38	3.72	3.70	<b>3.45</b>	3.79	<b>3.82</b>	3.64
(3) 騒音・振動	3.46	3.18	3.61	3.55	<b>2.90</b>	<b>3.71</b>	<b>3.62</b>	3.46
(4) 災害時の安全性	3.46	3.34	3.37	3.52	<b>3.24</b>	3.59	<b>3.62</b>	3.46
(5) 下水・排水	3.77	3.70	3.65	3.85	<b>3.50</b>	<b>3.89</b>	<b>3.88</b>	3.77
(6) し尿処理	3.92	3.85	3.86	3.98	<b>3.71</b>	<b>4.05</b>	<b>3.98</b>	3.92
(7) ごみ処理	3.89	3.89	3.83	<b>3.95</b>	<b>3.76</b>	3.94	<b>3.90</b>	3.89
(8) 防犯や風紀	3.44	<b>3.32</b>	3.39	3.49	3.36	<b>3.55</b>	<b>3.52</b>	3.44
(9) 病院などの医療施設	3.39	<b>3.55</b>	<b>3.10</b>	<b>3.55</b>	3.22	3.43	<b>3.33</b>	3.39
(10) 集会施設	3.26	3.21	3.21	<b>3.43</b>	<b>3.14</b>	3.22	<b>3.32</b>	3.26
(11) 公園・遊び場	3.36	3.21	3.07	3.46	<b>3.01</b>	3.44	<b>3.81</b>	3.36
(12) 道路の整備状況	3.35	3.28	<b>2.89</b>	3.39	3.13	3.48	<b>3.79</b>	3.35
(13) 緑の豊かさ	4.21	<b>3.87</b>	4.22	4.29	4.04	4.33	<b>4.51</b>	4.21
(14) 交通の便	3.35	<b>3.68</b>	<b>2.74</b>	3.60	2.81	3.46	<b>3.42</b>	3.35
(15) 交通の安全性	3.34	3.32	<b>3.02</b>	3.40	<b>3.02</b>	3.50	<b>3.62</b>	3.34
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.69	3.66	3.47	3.79	<b>3.42</b>	3.82	<b>3.85</b>	3.69

注)  は項目内で最高値  は項目内で最低値

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの5項目は次のようになっている。

### 【上 位】

緑の豊かさ	(4.21点)	集会施設	(3.26点)
日当たりや風通し	(4.16点)	交通の安全性	(3.34点)
し尿処理	(3.92点)	道路の整備状況	(3.35点)
ごみ処理	(3.89点)	交通の便	(3.35点)
下水・排水	(3.77点)	公園・遊び場	(3.36点)

### 【下 位】

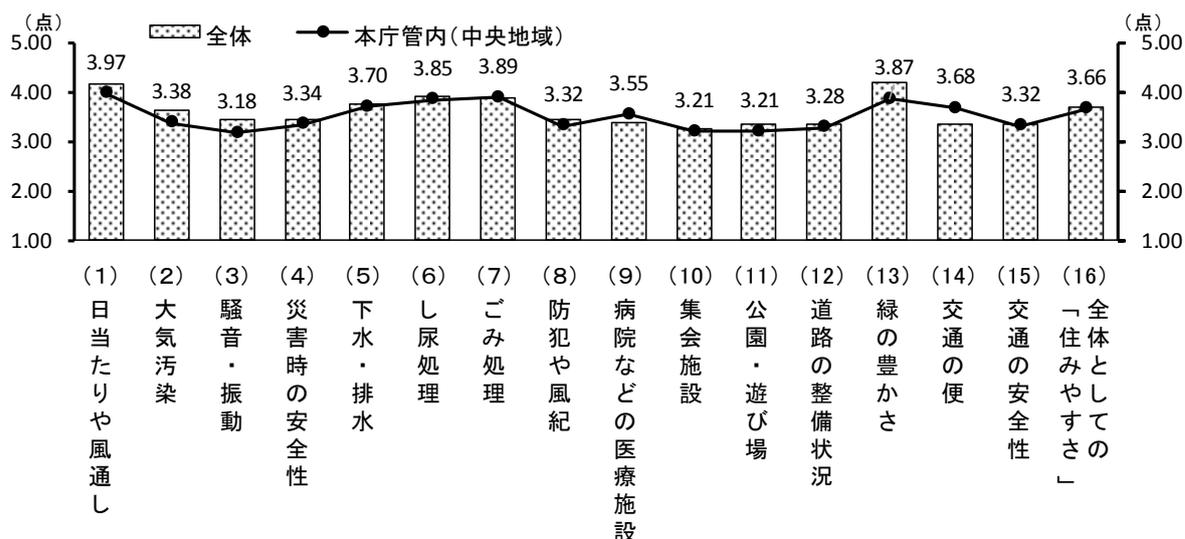
(図1-7-3)

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは16項目中2項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（+0.33ポイント）となっている。下回っているのは16項目中13項目で、最も差が大きいのは（13）緑の豊かさ（-0.34ポイント）となっている。（図1-7-4）

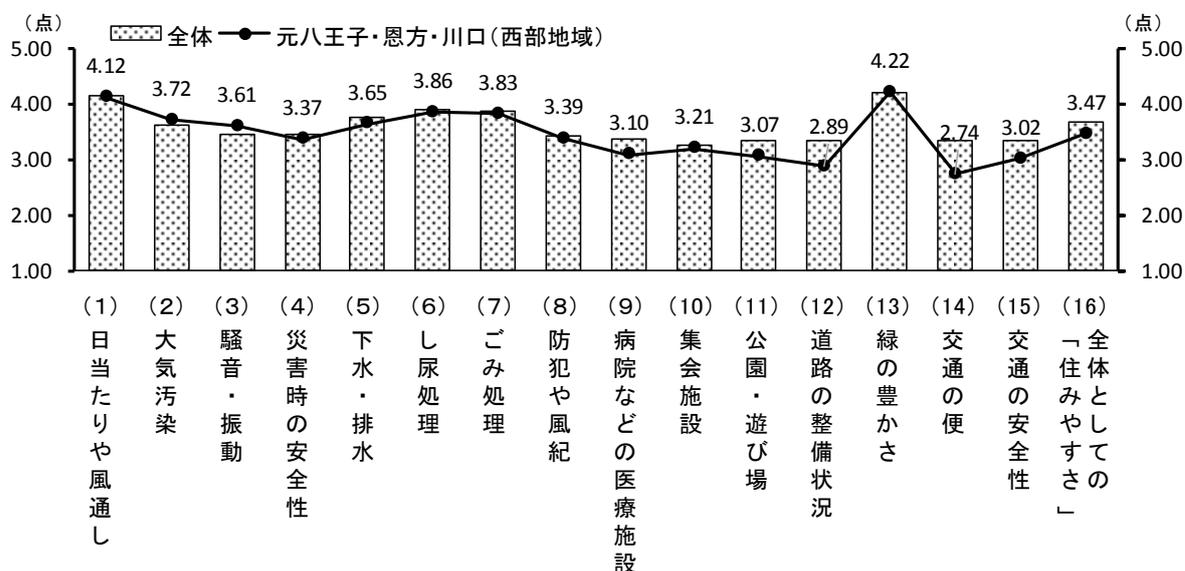
図1-7-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中3項目で、最も差が大きいのは（3）騒音・振動（+0.15ポイント）となっている。下回っているのは16項目中13項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（-0.61ポイント）となっている。（図1-7-5）

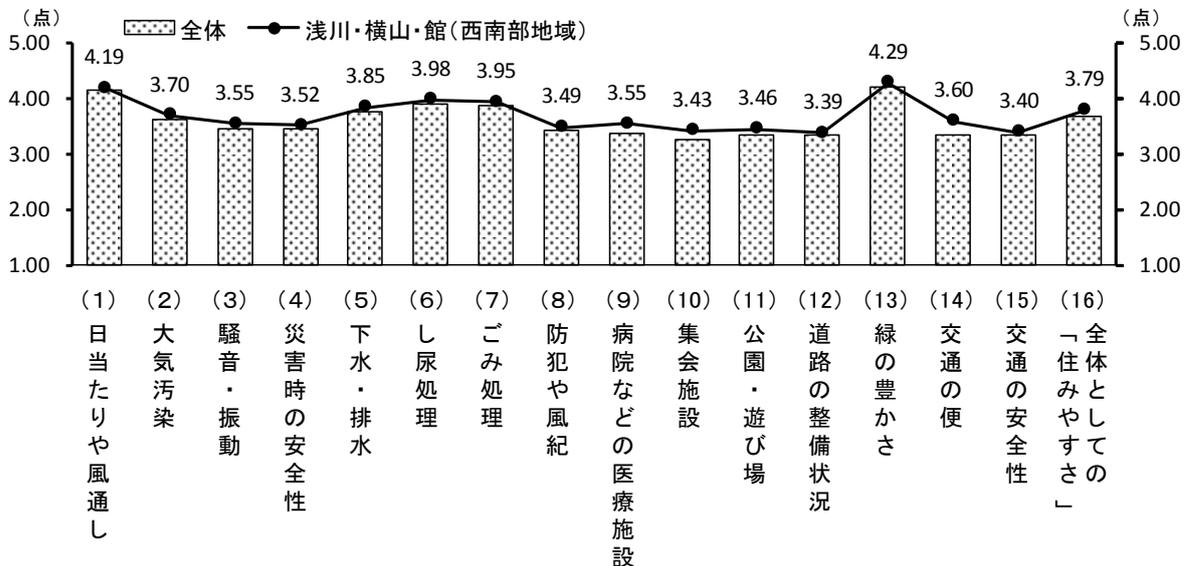
図1-7-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中すべての項目で、最も差が大きいのは(14)交通の便(+0.25ポイント)となっている。(図1-7-6)

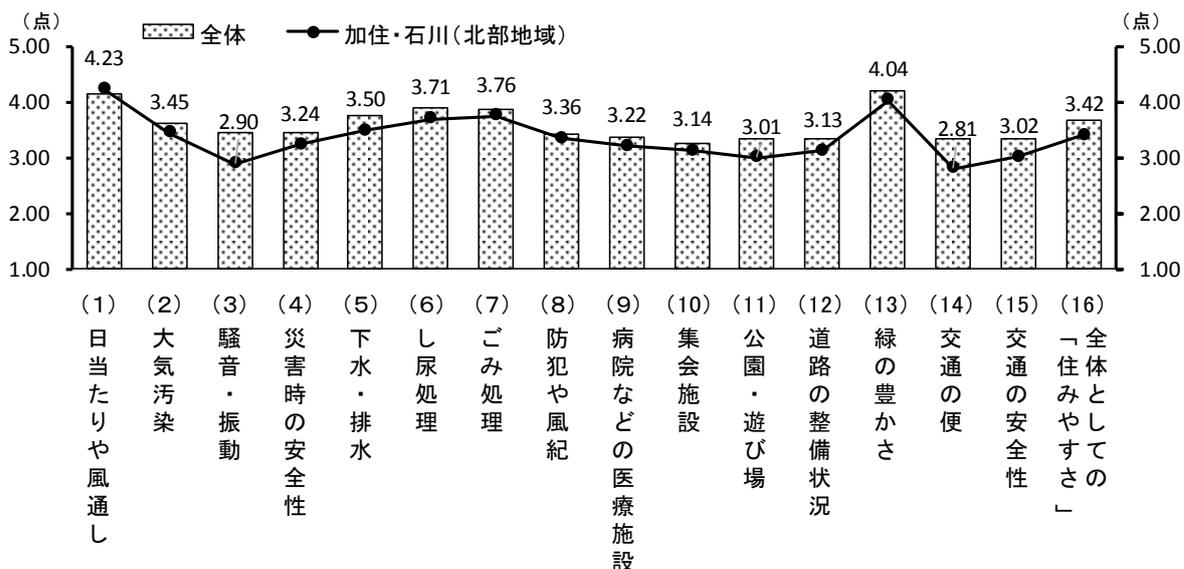
図1-7-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中1項目で、(1)日当たりや風通し(+0.07ポイント)となっている。下回っているのは16項目中15項目で、最も差が大きいのは(3)振動・騒音(-0.56ポイント)となっている。(図1-7-7)

図1-7-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」

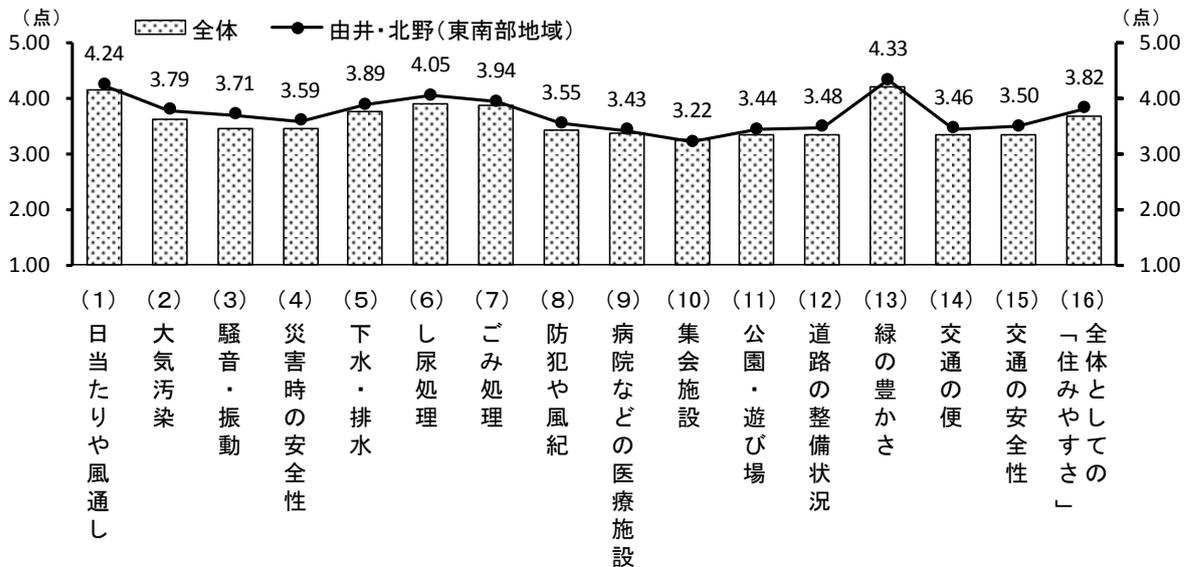


【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中15項目で、最も差が大きいのは（3）振動・騒音（+0.25ポイント）となっている。下回っているのは、16項目中1項目で、（10）集会施設（-0.04ポイント）となっている。

（図1-7-8）

図1-7-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中15項目で、最も差が大きいのは（11）公園・遊び場（+0.45ポイント）となっている。下回っているのは16項目中1項目で、（9）病院などの医療施設（-0.06ポイント）となっている。（図1-7-9）

図1-7-9 生活環境の評価（加重平均）－居住地地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」

